

機械収穫適性に優れ、良質で高タンパクの 早生熟期大豆「東山228号」

「東山228号」の特性概要

形質	品種名	東山	すず	サチ
		228号	こがね	ユタカ
播種日 (月・日)		6.15	6.15	6.15
開花期 (月・日)		7.28	7.26	7.31
成熟期 (月・日)		10.14	10.11	10.24
生育中	倒伏	0.3	0.1	0.9
の障害	ウイルス	0.0	0.2	0.5
(0~5)	青立	0.3	0.3	0.9
主茎長 (cm)		67.4	49.0	56.2
主茎太 (mm)		10.1	8.6	10.9
分枝数 (本/株)		7.1	5.5	5.2
莢数 (莢/m ²)		965	930	598
最下着莢高 (cm)		21.1	16.0	16.7
精子実重 (kg/a)		30.6	31.0	30.7
比率 (%)		98	100	99
百粒重 (g)		29.5	28.5	34.2
障害粒	紫斑	0.1	0.0	0.3
発生程	褐斑	0.0	0.0	0.3
度	裂皮	0.5	0.8	0.5
(0~5)	しわ	0.2	0.5	0.6
等級 (1~11)		3.6	3.9	2.7
タンパク質 (%)		46.1	43.9	46.1

注1)試験年次:2013-2017年

試験場所:鳥取県農業試験場



東山228号 すずこがね

株 標 本



子 実 標 本

【東山228号の特徴】

- 成熟期が「すずこがね」より3日程度遅い早生熟期
- 主茎長が長く、莢着きの位置が高くコンバインで収穫し易い
- 品質が優れ、高タンパクで豆腐加工適性に優れる
- ウイルスに抵抗性で、モザイク症状や褐斑粒が出にくい
- 育成地は長野県で交配組合は東山188号(母)×東山196号(父)



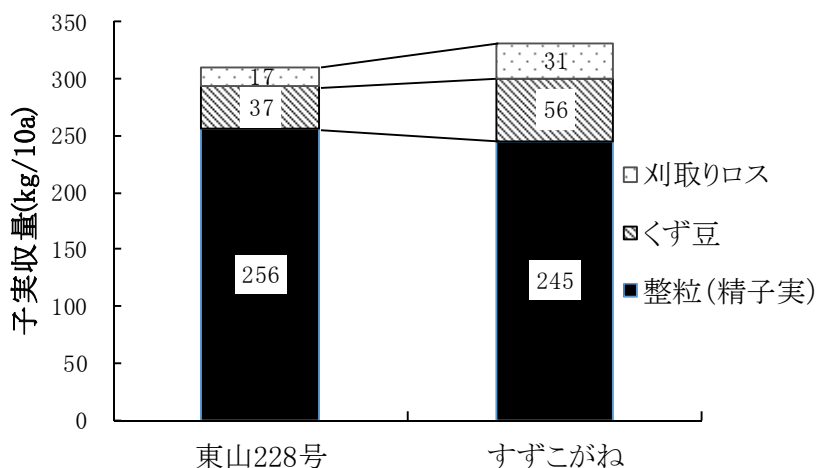
東山228号



すずこがね

【写真:コンバインの刈跡】

「東山228号」は主茎長が長く、莢の着く位置が高いため、刈取りロスも少なく、機械収穫適性に優れます！！



コンバイン収穫による刈取ロスおよび収量の比較

注) 試験年次: 2016年、試験場所: 鳥取市常松、面積刈り調査による整粒およびくず豆それぞれから、コンバインによる刈取りロス(刈り残し、未脱穀、排出粒)を差し引いてコンバイン刈り収量を推定した。くず豆は、6.7mm以下および腐敗・割れ・障害・変形粒を含む。

豆腐加工適性試験成績

品種・系統名	子実		豆乳	豆乳	豆乳	豆乳	豆乳	豆腐
	タンパク質含有率	吸水率	粘度	抽出率	濃度	フィチン含量	Ca含量	破断応力
	(%)	(%)	(mPa·s)	(%)	(Brix%)	(mM)	(mg/dL)	(×100N/m ²)
サチユタカ	47.8	214	81.8	73.9	12.2	4.07	11.1	61.1
タマホマレ	42.9	216	77.8	75.5	12.0	4.00	17.3	55.4
東山228号	47.5	219	81.2	76.4	12.6	4.04	15.5	83.4

子実のタンパク質含有率が高く、豆腐の加工適性に優れます！！

【今後の予定】

平成30年には品種登録の出願が行われ、本県の奨励品種に採用される予定です

お問い合わせ先 農業試験場作物研究室 電話0857-53-0721